

ごあいさつ

第47回日本熱帯医学会大会
大会長 **神原 廣二**
第21回日本国際保健医療学会総会
大会長 **門司 和彦**

いよいよ第47回日本熱帯医学会と第21回日本国際保健医療学会を長崎で合同大会として開催する時期になりました。合同大会は1999年の東京(石川信克・古田直樹大会長)、2003年の小倉(吉村健清大会長)に続き3回目となります。国際保健医療学会を長崎で開催するのは2000年の第15回(五十嵐章大会長)以来2度目、熱帯医学会を開催するのは1992年の第34回大会(松本慶蔵大会長)以来7度目となります。長崎では初めての両学会合同大会の大会長をお引き受けするのは我々にとって大変光栄なことだと感じております。

合同大会のメインテーマは「Tropical Medicine and International Health in Transition」としました。1996年11月に長崎で「第14回国際熱帯医学・マラリア学会(松本慶蔵大会長)」を開催してから10年の歳月が過ぎました。今日の変りゆく世界に対応すべく熱帯医学も国際保健医療学も自己改革を進め、協力して世界の人々の健康に貢献していきたい、両学会でシームレスに広いラインナップをそろえ、基礎研究から臨床・疫学・公衆衛生・社会科学を網羅しつつ、ときには個別領域を深く追求し、ときには連携して社会的課題に取り組む、そのためのステップとなる合同大会にしたいと考えております。

合同大会の準備にはプログラム委員の先生方・準備委員会のメンバーに多大なご協力をいただきました。ここに感謝申し上げます。また、長崎大学熱帯医学研究所の青木克己所長以下、所員全員が協力して皆様をお迎えする準備を整えております。会期中は色々いきとどかぬ点もあろうかと存じますが、会員の積極的参加、活発な御発表、討論を期待しております。

2006年10月